

施工の際は、必ず食洗機同梱の取付設置説明書も参照しながら施工してください。

通信料はお客様のご負担となります。また、機種によりご利用になれない場合があります。  
<https://sumai.panasonic.jp/dishwasher/manual/new.html>



## 概要

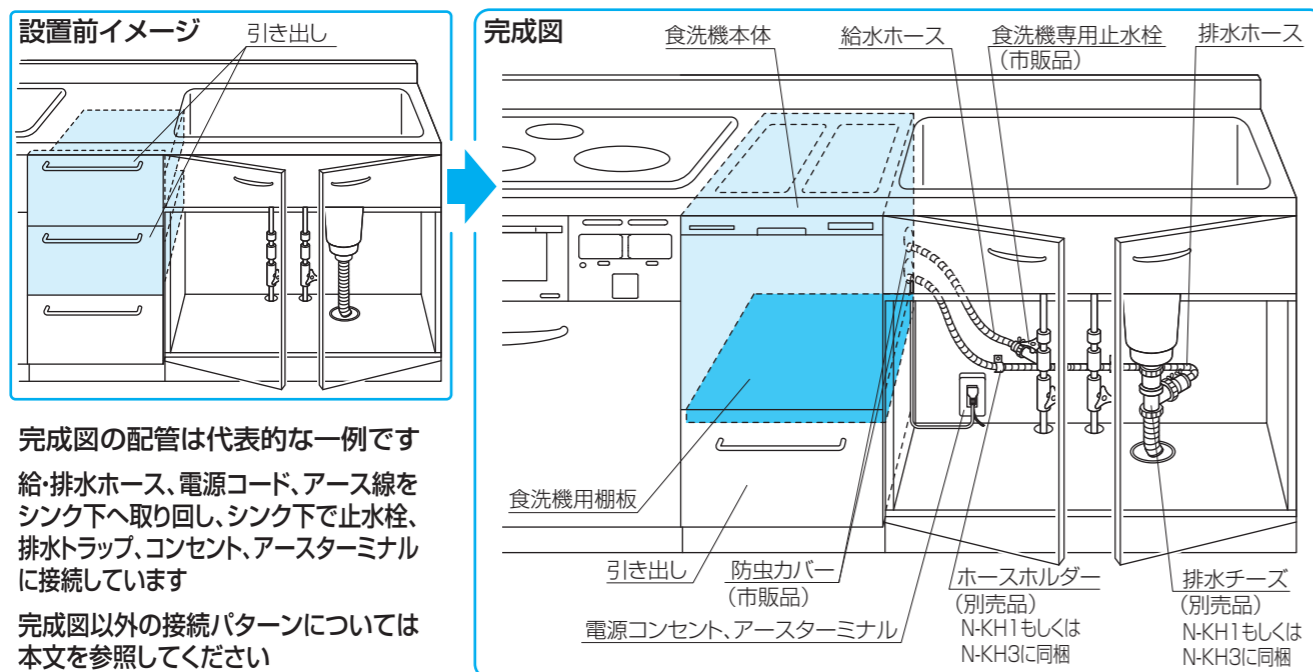
この施工例は、幅 450mm のキャビネットから引き出しのみを撤去して、ミドルタイプの食洗機本体と食洗機用棚板を設置する手順について説明しています。

手順は NP-45VS9 を主体に説明しています。それ以外の機種を施工する場合は手順が異なる場合がありますので、必ず食洗機同梱の取付設置説明書も参照しながら施工してください。

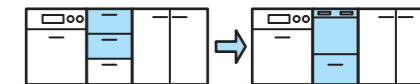
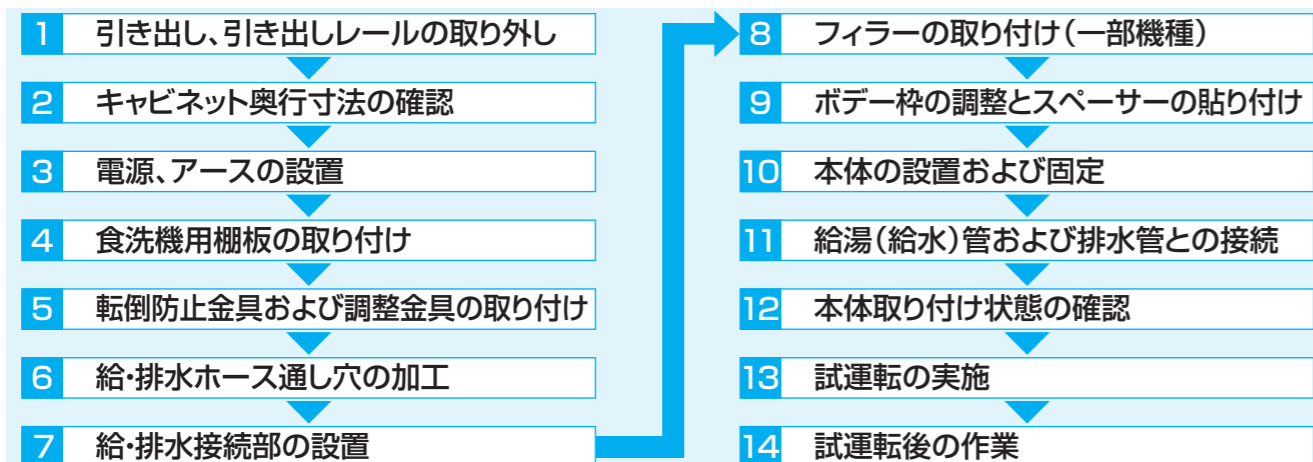
## 【注意】

食洗機を設置する際、キッチン本体を加工する必要がある場合は、まずキッチンメーカーへ加工の可否を確認してください。確認ができたならお客様に加工の内容を説明して、必ず承諾を得てから加工してください。

## 完成図



## 施工の流れ



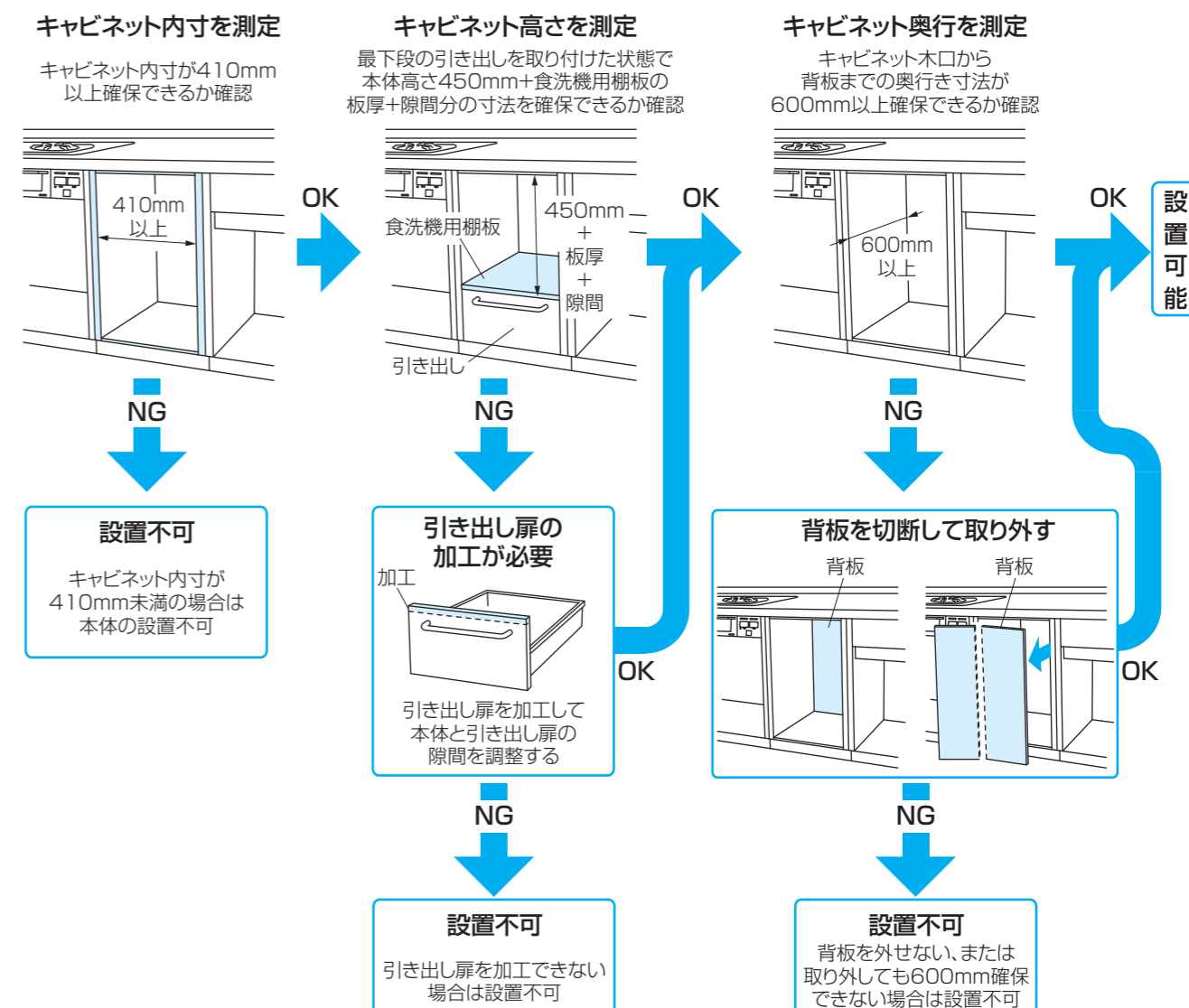
## ■ 設置条件

施工前に設置空間、給・排水、電源などの各種設置条件を満たしていることを確認してください。  
 幅 450mm のキャビネットで、キャビネットの内寸が食洗機本体をビルトインできる幅であれば、独立型、一体型キッチンどちらでも施工可能です。

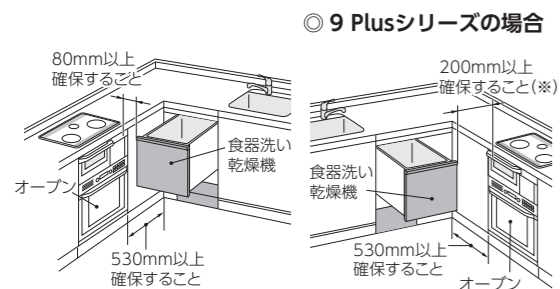
この施工例の設置条件は、引き出しのみを取り外した幅 450mm のキャビネットに、以下の食洗機設置空間を確保できることを前提としています。

- キャビネット内寸が 410mm 以上確保できること
- 最下段の引き出しを取り付けた状態で、食洗機用棚板（厚さ 15 ～ 18mm の化粧合板）の板厚 + 食洗機本体の高さ 450mm + 隙間 5mm 程度の合計寸法を確保できること
- キャビネット木口から背板までの奥行寸法が 600mm 以上確保できること

食洗機設置空間の高さおよび奥行寸法については引き出し扉やキッチン背板を加工することでビルトインできる場合もありますが、キャビネット内側の有効幅が 410mm 未満の場合はビルトインできません。



設置空間条件の留意点



※ 200mmは洗剤タンク取り出し、取り付けのできる最小のスペースであり、余裕を持って行うには250mm以上のスペースを推奨します。

● L 型コーナー部に設置する場合

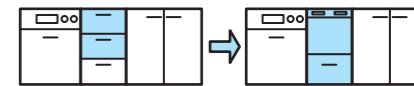
- 近接する機器と接触しないよう、食洗機ドアの開閉スペースを確保してください。
- 9 Plus シリーズの場合、洗剤タンクの取り出し・取り付けができるよう、食洗機の右側とキッチンのスペースを確保してください。
- 法令義務により、本機やキッチンの金属部を家屋の壁中のラス（モルタル下地の金網）や金属板に電氣的に接触しないようにしてください。

※ 法令：電気設備の技術基準の解釈

食洗機本体同梱品一覧（ミドルタイプ）

- フィラーは MS9 シリーズのみ付属します。
- 機種によってスペーサーの形状、個数が異なる場合があります。
- 厚さ 21mm のスペーサーはこの施工例では使用しません。

①ホースバンド(小) (1個)	②ホースジョイント(1個) ③ホースバンド(大) (2本)	④転倒防止金具(1個) ⑤ネジ(14mm) (3本)
⑥固定金具(L)(R) (各1個) ※左の固定金具にはラインが入っています ⑦ネジ黒(短) (2本) ⑧ネジ黒(長) (2本)	⑨型紙(1枚)	⑩スペーサー RS9タイプ (短) (2個) VS9-MS9タイプ (長) (4個) ⑪型紙(1枚)
⑪スペーサー (6×20×435 2個)	⑫調整金具(L),(R) (各1個) ⑬ネジ(14mm) (4本)	⑭フィラー(1個) ※MS9タイプのみ



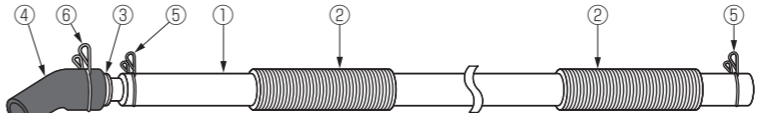
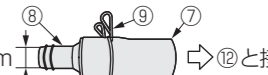
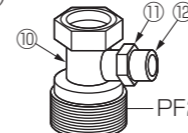





施工関連部材

- 施工関連部材は全て必要ではありません。設置するキッチンの状態、形状から必要な部材を選択して下さい。

● 簡易排水管 (N-KH1)

キッチン空間事業部扱い 希望小売価格 6,600 円 (税抜 6,000 円 / 工事費別)

- 排水ホースを延長する場合は、必ず使用してください。
- 施工に必要な排水部材をセットしたものです。直接キッチンの排水トラップへ分岐接続する場合は③を、食洗機本体の排水ホースの長さでは排水管の接続部まで届かない場合には①、②を使用する等、接続先の状態、形状によって組み合わせて使用します。
- キッチンの状態、形状によっては不要になる部品もあります。

<div>1</div> <div>排水ホースAユニット(1個・2m)</div> <div></div> <div>①排水ホースA(1) ②スプリング(2) ③ホースジョイント(1) ④エルボ(1) ⑤ホースバンド小(2) ⑥ホースバンド大(1)</div>	<div>2</div> <div>排水ホースBユニット(1個)</div> <div></div> <div>A : φ18mm ※本体同梱のホースジョイントとは、ジョイント部分の直径(A)が異なります。 ⑦排水ホースB(1) ⑧ホースジョイント(1) ⑨ホースバンド大(1)</div>		
<div>3</div> <div>排水チーズユニット (1個)</div> <div>(H=95mm)</div> <div></div> <div>⑩排水チーズU(1) ⑪1インチナット(1) ⑫1インチインナー(1)</div>	<div>4</div> <div>ホースバンド(ネジ式) (1個)</div> <div></div>	<div>5</div> <div>ホースバンド 大 (1個)</div> <div></div>	<div>6</div> <div>ホース穴カバー(1個) (白色)</div> <div></div>
<div>7</div> <div>ホースホルダー(3個)</div> <div></div>		<div>8</div> <div>タッピンネジ(3個)</div> <div></div>	

● 簡易排水管キット (N-KH3)

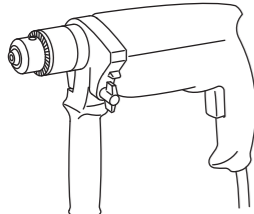
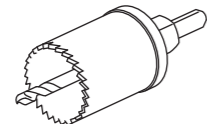
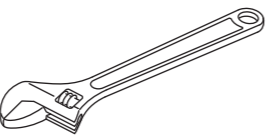
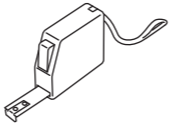
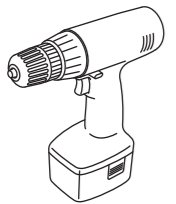
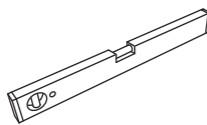
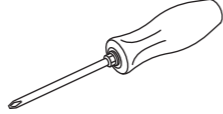
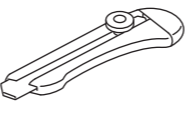
キッチン空間事業部扱い 希望小売価格 7,700 円 (税抜 7,000 円 / 工事費別)

- 施工に必要な排水部材をセットしたものです。直接キッチンの排水トラップへ分岐接続する場合や、横引き管等の排水管に直接接続する場合に使用します。
- キッチンの状態、形状によっては不要になる部品もあります。

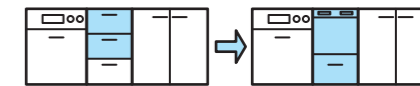
①排水チーズ(1個) (H=85mm) PF1インチネジ PF2インチネジ	②排水管 (VP40) (1個)	③2インチナット (1個)	④三角パッキン (1個)	⑤1インチインナー (1個) パッキン付	⑥1インチナット (1個)
⑦ホースホルダー (2個)	⑧ネジ (2個)	⑨スペーサー (1個) 14mm	⑩下フィラー(1個) (黒色)	上面に台紙付粘着テープ	

### ■ 主要工具類

・施工に必要な主要工具類です。事前に準備をお願いします。

①電動ドリル 	③ホルソー (φ 60mm) 	⑤モンキーレンチ 	⑦スケール 
②電動ドライバー 	④水準器 	⑥ドライバー 	⑧カッターナイフ 

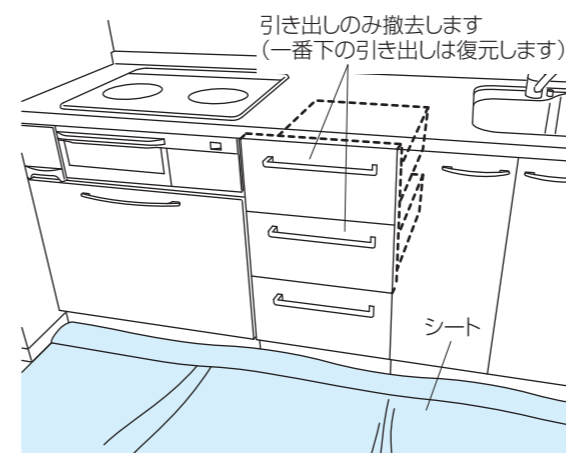
引き出しキャビネットに食洗機用棚板を設置して、ミドルタイプをビルトイン



### ■ 施工手順

## 1 引き出し、引き出しレールの取り外し

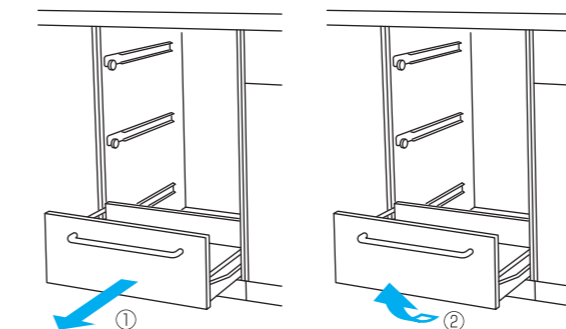
【図 1】



### 養生作業

- (1) 傷つきや汚損を防止するために、食洗機本体を設置するキャビネット周辺の床面をシート等で保護します。  
..... 【図 1】

【図 2】



### 引き出しの取り外し

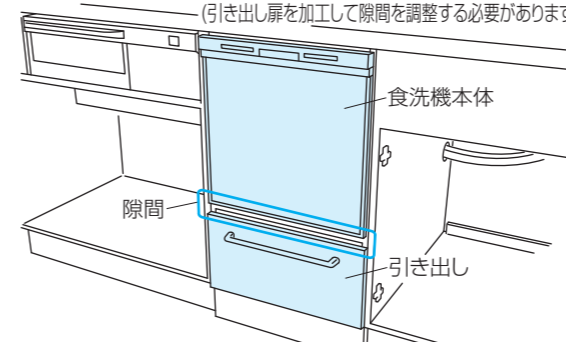
- (1) 引き出しをいっぱいまで引き出し、斜めに持ち上げて取り外します。  
..... 【図 2】

### 【参考】

- ・上記以外にも、ストッパーを手動で解除して取り外すタイプもあります。
- ・一番下の引き出しは復元しますが、作業スペース確保のため取り外しておきます。

【図 3】

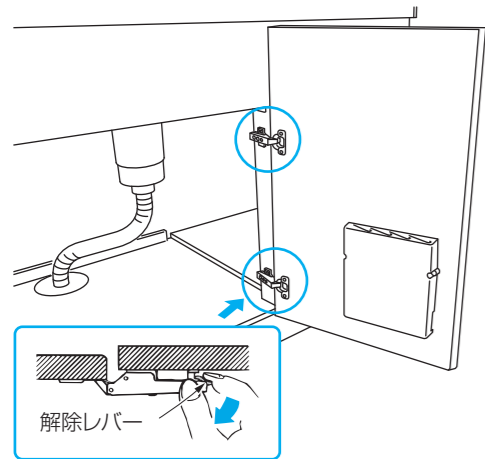
(例) 本体と引き出しの間に隙間がある場合  
(引き出し扉を加工して隙間を調整する必要があります)



### 【参考】

- ・食洗機本体ビルトイン後、本体と引き出し扉の間に隙間がある場合は、引き出し扉を加工して隙間を調整する必要があります。  
..... 【図 3】
- ・加工が必要な場合は、キッチンメーカーおよびお客様に確認のうえ作業してください。

【図 4】



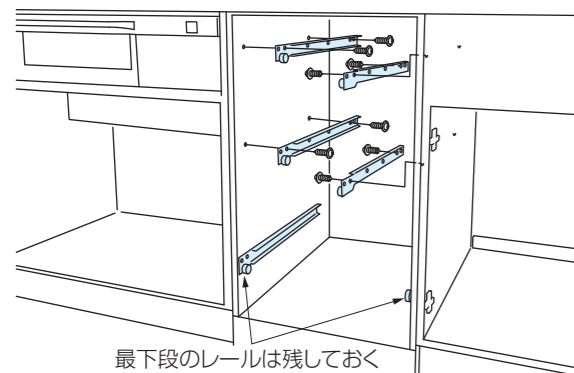
開き扉の取り外し .....【図 4】

- (1) 扉を保持します。
- (2) 扉下側、扉上側の順にヒンジの解除レバーを引き、ロックを解除します。
- (3) 扉を取り外します。

### 【参考】

上記以外にも、前後調整ネジを緩めて扉を取り外すタイプもあります。

【図 5】



引き出しレールの取り外し

- (1) 最下段の引き出しレール以外をすべて取り外します。 .....【図 5】

### 【参考】

最下段は引き出しを復元するため、レールを残しておきます。

## 2 キャビネット奥行寸法の確認

### 【注意】

お客様にキャビネットの加工が必要になる可能性があることを説明して、ご了解を得たうえで施工してください。

【図 6】

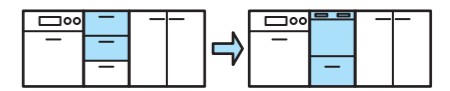


キャビネット奥行寸法の確認

.....【図 6】

- (1) キャビネット木口から背板までの奥行寸法を測定します。
- (2) 奥行寸法が 600mm 以上あることを確認します。

引き出しキャビネットに食洗機用棚板を設置して、ミドルタイプをビルトイン

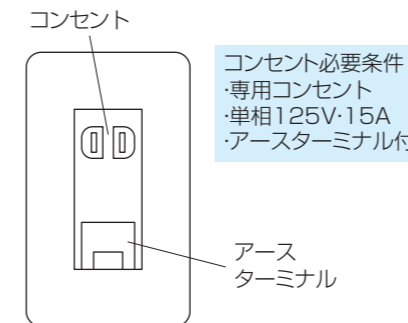


## 3 電源、アースの設置

### 【注意】

電気工事、アース工事はすべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行ってください。

【図 7】



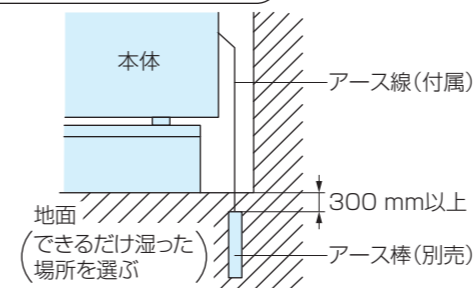
電源コンセントの設置

- (1) 電源コンセントは、定格表示 125V、15A のアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。 .....【図 7】

- (2) 電源コンセントは、本体の電源コードの長さ（約 1.4m）が届く範囲内で、メンテナンス上プラグの脱着しやすい位置に設置してください。

【図 8】

### アース棒を使用の場合



アース（接地）の設置 .....【図 8】

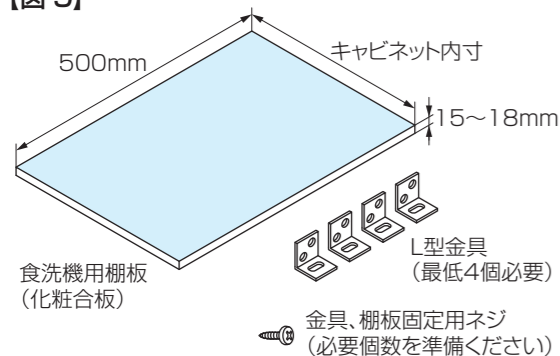
- 感電事故防止のため必ず電気工事士による D 種（第 3 種）接地工事を行ってください。（法令により規定）
- ガス管や水道管、電話や避雷針、および漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。（法令により禁止）
- アースターミナル付きコンセントは、接地抵抗値 100 Ω 以下のものをご使用ください。

## 4 食洗機用棚板の取り付け

## 【注意】

食洗機の質量＋食器、水（約 40kg）を十分考慮して、隣接するキャビネットに固定してください。

【図 9】

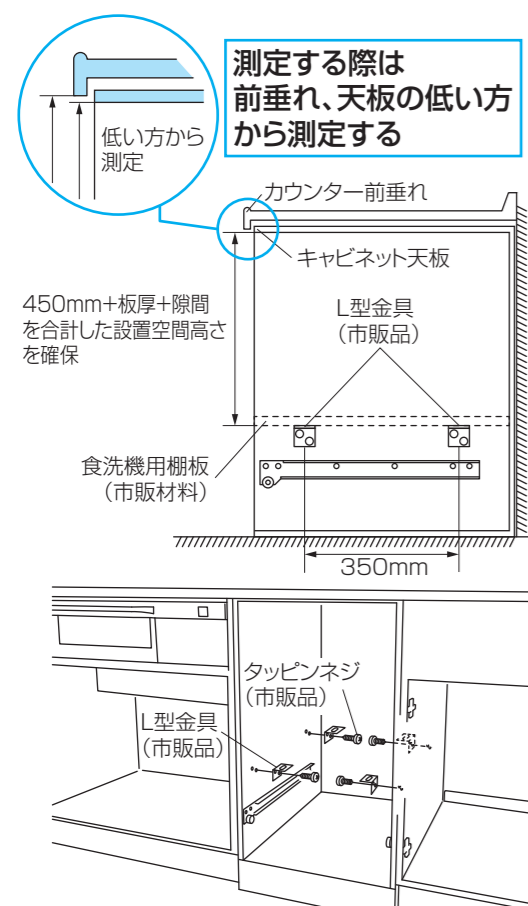


## 食洗機用棚板および L 型金具の準備

- (1) 食洗機用棚板および L 型金具を準備します。  
……………【図 9】

- ・食洗機用棚板（市販材料）  
厚さ：15～18mm の化粧合板  
サイズ：キャビネット内寸×奥行 500mm
- ・金具類（市販品）  
L 型金具 4 個以上および必要個数の  
固定用タッピンネジ

【図 10】



## L 型金具の取り付け ……………【図 10】

- (1) キッチン前垂れもしくはキャビネット天板の、どちらか低い方から 450mm＋板厚＋隙間の合計寸法位置に L 型金具を配置して、下穴を開けます。
- (2) L 型金具を 4 個タッピンネジで取り付けます。

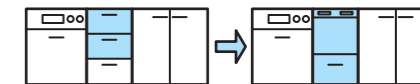
## 【注意】

- ・電動ドライバーを使用すると下穴が破損して締め付け不良となるため、金具の取り付けには電動ドライバーを使用せず必ず手締めしてください。
- ・高さ寸法を測定する際は、設置空間の一番低いところから測定してください。正しく測定しないと、本体がビルトインできません。

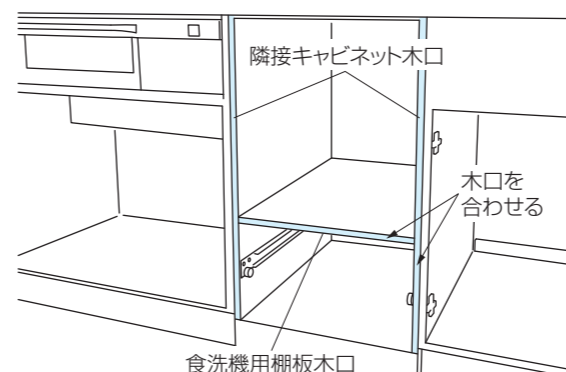
## 【参考】

- ・L 型金具は 350mm 程度の間隔を開けて取り付けてください。
- ・前垂れより天板の高さが低い場合、本体の取り付け位置が低くなり、ビルトイン後に前垂れと本体の間に隙間ができます。

引き出しキャビネットに食洗機用棚板を設置して、ミドルタイプをビルトイン



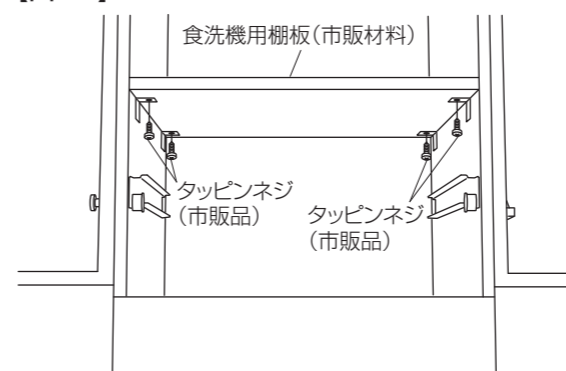
【図 11】



## 食洗機用棚板の取り付け

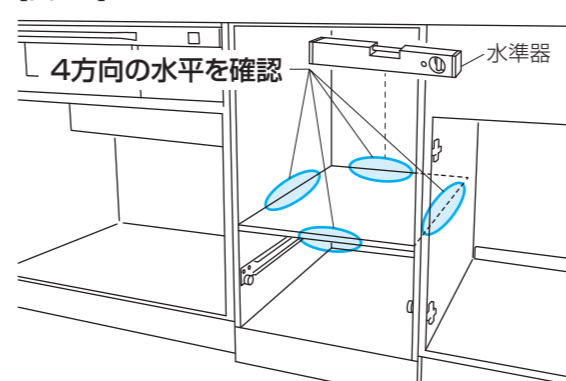
- (1) 食洗機用棚板を L 型金具の上に配置します。
- (2) 隣接するキャビネットの木口と食洗機用棚板の木口を合わせます。  
……………【図 11】

【図 12】



- (3) 食洗機用棚板に下穴を開けます。
- (4) L 型金具と食洗機用棚板とをタッピンネジで固定します。  
……………【図 12】
- (5) カウンター前垂れもしくはキャビネット天板の下面から食洗機用棚板上面まで、455mm 以上の設置空間高さが確保できていることを確認します。

【図 13】

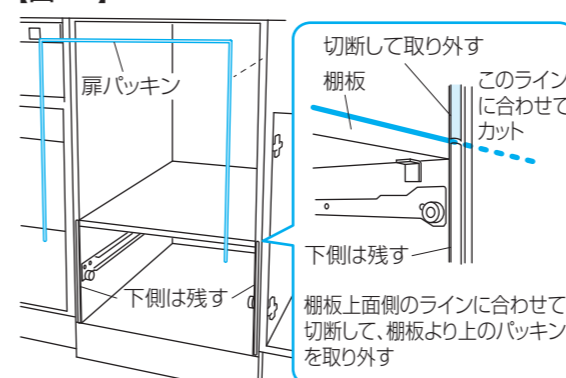


- (6) 調整が完了したら、水準器を用いて、前後、左右方向の 4 方向に傾きがないように調整してください。  
……………【図 13】

## 【注意】

棚板に傾きがあると本体の設置不良による不具合の原因となるため、水準器を使用して確実に調整してください。

【図 14】



## キャビネット扉パッキンの取り外し

- (1) 食洗機を設置するキャビネットの側板および天板に、扉パッキンが取り付けられている場合は、食洗機用棚板の上面から上のパッキンを切断して取り外します。  
……………【図 14】

## 【注意】

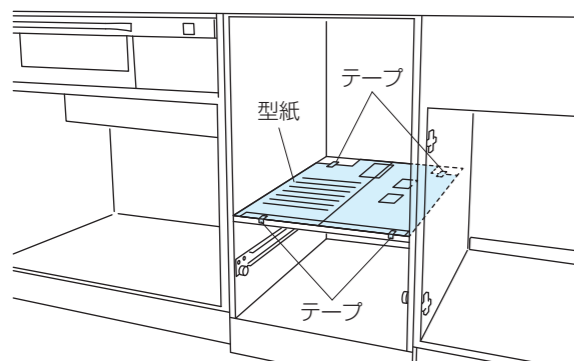
扉パッキンが残っていると、扉パッキンの厚み分本体が前にずれ、正しくビルトインできません。

### 5 転倒防止金具および調整金具の取り付け

#### 【注意】

電動ドライバーを使用すると食洗機用棚板に開けた下穴が破損して、締め付け不良となるため、金具類の取り付けには電動ドライバーを使用せず必ず手締めしてください。

【図 15】



#### 型紙の貼り付け

- (1) 本体同梱の型紙に記載されている手順に従って型紙をテープ等で食洗機用棚板に貼り付け、金具類の取り付け位置をポンチ等でマーキングしてください。……………【図 15】
- (2) マーキング後、型紙を取り外してください。
- (3) マーキングした位置にφ 2.5mm、深さ 12mm の下穴を精度よく開けてください。

#### 転倒防止金具の取り付け

- (1) マーキングした金具の締め付け穴記号の位置と下穴を合わせる。
- (2) 2 本のネジ 14mm (同梱) で食洗機用棚板の後側に取り付けてください。……………【図 16】

#### 【注意】

ネジ山が破損して締まらなくなった場合は、予備のネジを使用して 3 列目の穴もネジ止めしてください。

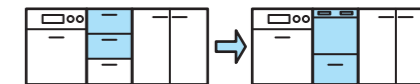
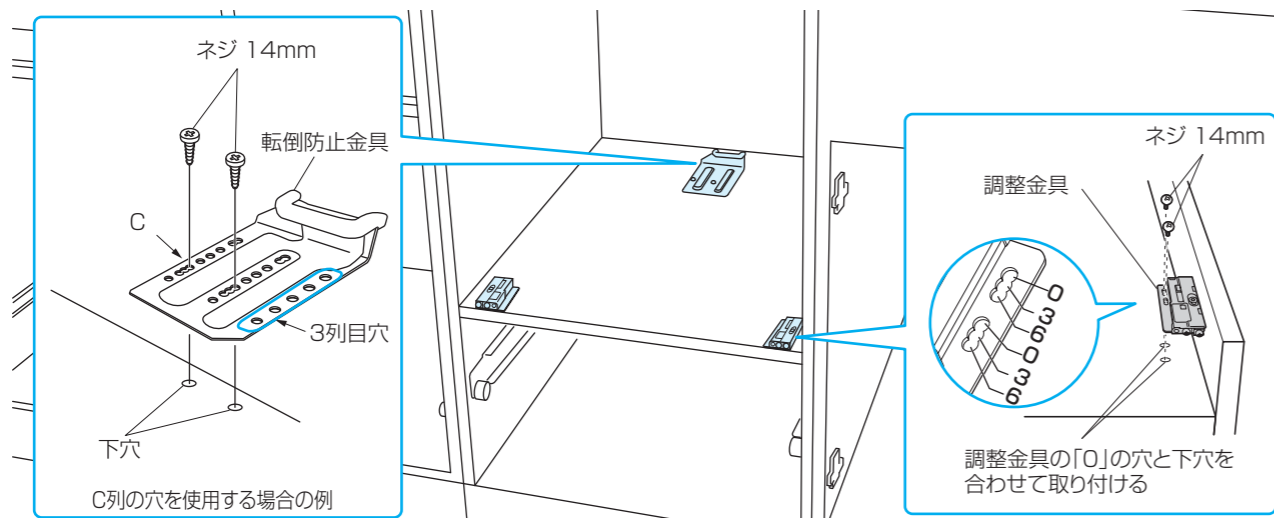
#### 調整金具の取り付け

- (1) 同梱の型紙に合わせて開けた下穴に合わせて、調整金具 (L)(R) をネジ (14mm) 各 2 本で「O」の固定穴位置で取り付けます。……………【図 16】

#### 【注意】

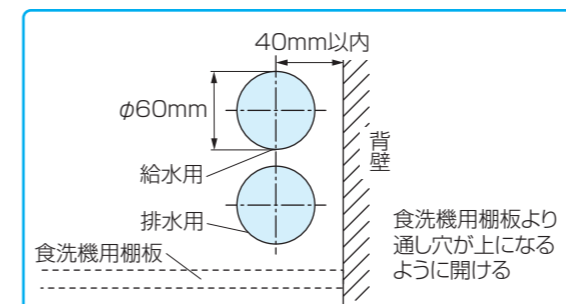
ドア面材型の場合、面材の厚みによって調整金具の取付位置が異なります。詳しくは取付設置説明書をご覧ください。

【図 16】



### 6 給・排水ホース通し穴の加工

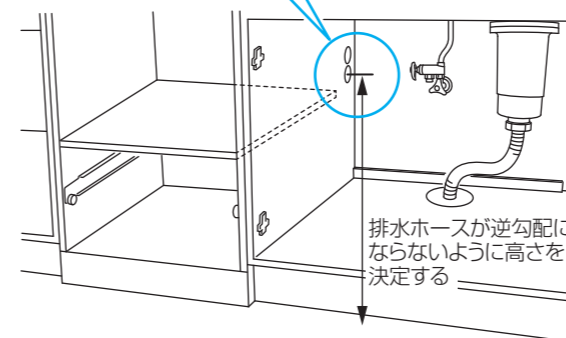
【図 17】



- (1) 給・排水ホースをキッチン下の配管に接続する場合や、簡易排水管キットを使用する場合は、キッチン側板に給・排水ホースを通す穴を、食洗機用棚板よりも上になるように、かつ背壁から穴中心までの寸法が 40 mm 以内になるように開けてください。……………【図 17】【図 18】

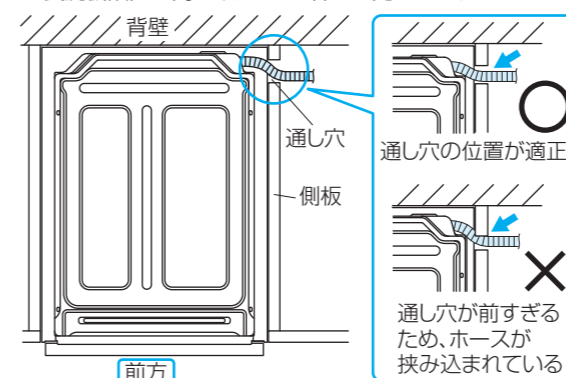
#### 【注意】

通し穴は、食洗機背面の排水ホース根元からキッチン側の排水接続部までの間で、排水ホースが下り勾配になるように配慮して開けてください。排水ホースが逆勾配になると排水が食洗機に逆流し、破損や水漏れの原因となります。



【図 18】

※食洗機設置空間をキッチン上部から見えています



#### 【注意】

通し穴はキャビネット側板の、背壁から 40mm 以内かつ、極力キャビネットの奥に開けてください。通し穴を必要以上にキッチン手前に開けると食洗機をビルトインした際に本体と側板の間に給・排水ホースが挟まりホースの切断や給・排水不良の原因となります。……………【図 18】

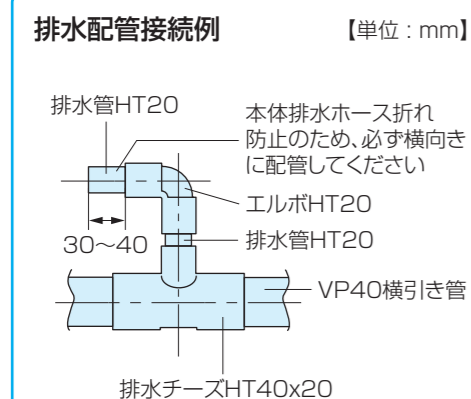
### 7 給・排水接続部の設置

#### VP 横引き管へ接続する場合

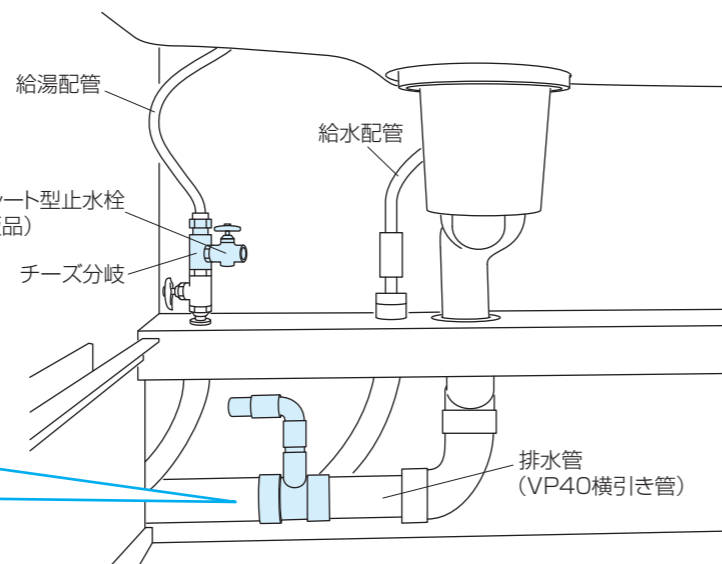
……………【図 19】

- (1) 給湯（水）配管は分岐止水栓で給湯（水）配管へ接続します。
- (2) 排水配管は、近接するシンクの背面に点検口や配管スペースがあり VP 横引き管に接続できる場合は、以下の様に点検口を外してチーズ等で分岐接続してください。

【図 19】



※HT：給排水に使用するビニール製耐熱管  
※VP：給排水に使用するビニール管



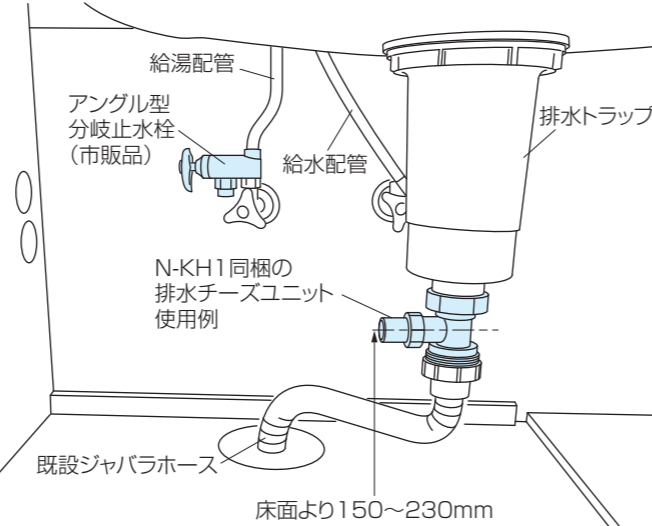
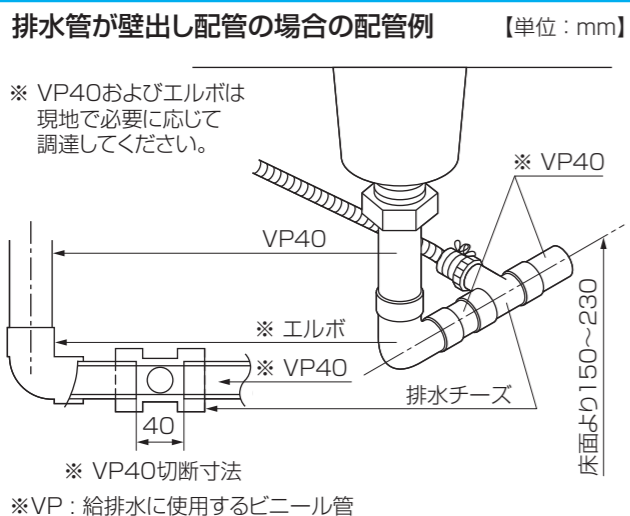
#### 排水トラップおよび壁出し配管へ接続する場合

……………【図 20】

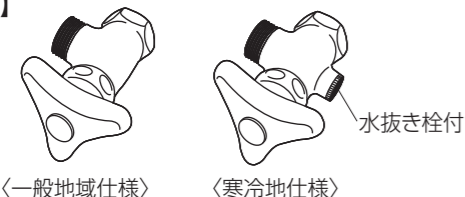
- (1) 給湯（水）配管は分岐止水栓で給湯（水）配管へ接続します。
- (2) 排水配管は排水トラップから既設のジャバラホースを外して、チーズ等で分岐接続してください。
- (3) 壁出し配管等で排水トラップに接続できない場合は、VP40 排水管に分岐接続してください。

【図 20】

※給水・給湯配管の止水栓は点検口の奥にあり露出していない場合があります。



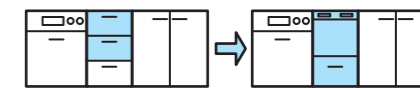
【図 21】



#### 【参考】

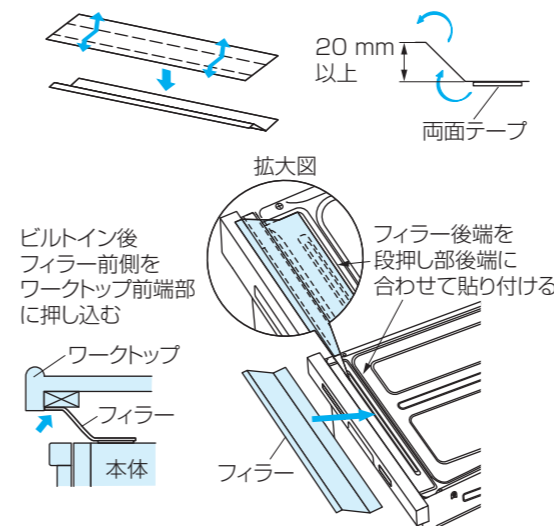
凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き栓を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

……………【図 21】



### 8 フィラーの取り付け（一部機種）

【図 22】



#### フィラーの取り付け（MS9 シリーズのみ）

……………【図 22】

- (1) フィラーの折り目（ミシン目）に合わせて図のように折り曲げ、下部の両面テープの離型紙をはがします。
- (2) 本体天面にある段押し部にフィラー後端を合わせ、左右均等になるように貼り付けます。
- (3) 本体ビルトイン後にフィラーが前側にはみ出さないように、天板形状に合わせてフィラーを天板前面部に押し込みます。

#### 【参考】

フィラーは騒音低減のため、付属する機種は必ず取付けてください。

### 9 ボデー枠の調整とスペーサーの貼り付け

#### ボデー枠の調整

- (1) 本体からボデーバンド B サポートを取り外します。

……………【図 23】

※ ボデーバンド B サポートは使用しません。

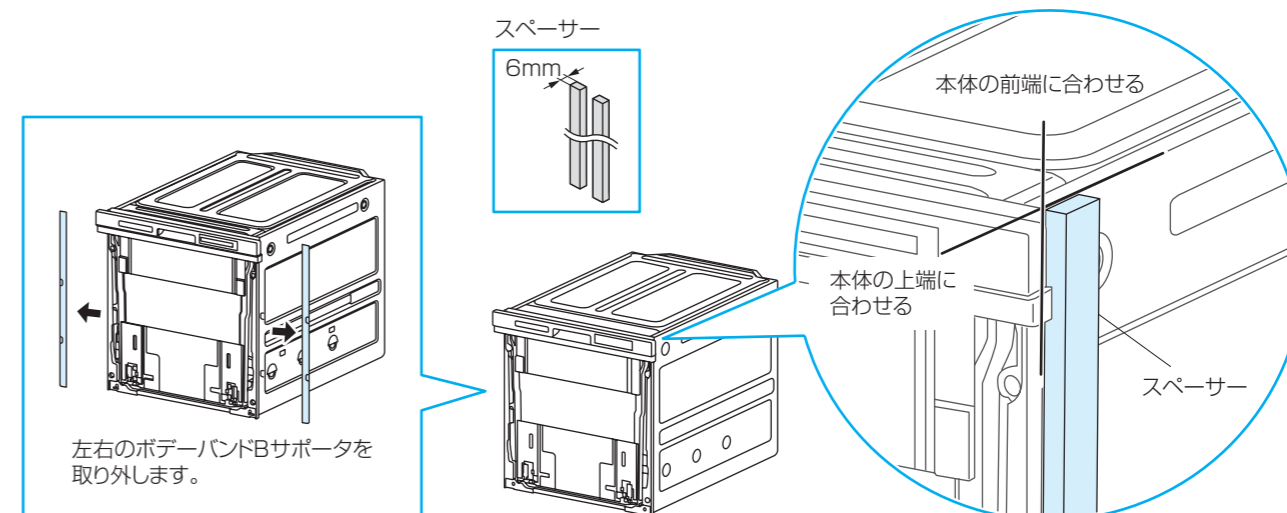
#### スペーサーの貼り付け

- (1) ビルトイン後に本体が横方向へ移動しないようにするため、同梱のスペーサーを本体の左右側面に貼り付けてください。

……………【図 23】

【図 23】

#### MS9、VS9、RS9 シリーズ



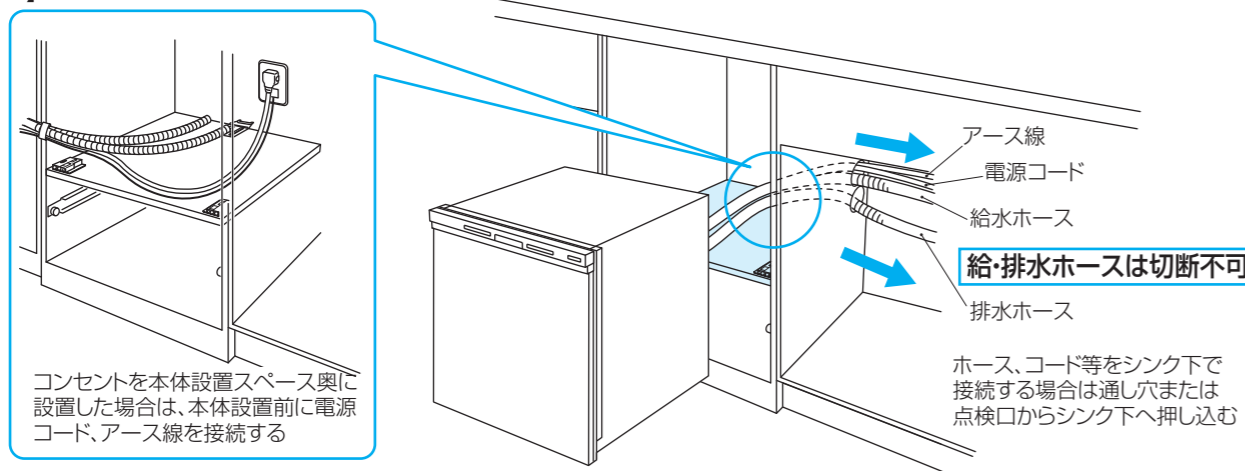
### 10 本体の設置および固定

⚠ 警告	
ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけない。 ⚡ 感電・漏電・火災や水漏れの原因となります。	電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない。 ⚡ 感電・漏電・火災や水漏れの原因となります。
電源プラグはコードが下向きになるようにし、コンセントに奥まで確実に差し込む。 ⚡ 上向きにするとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。	アースを確実に取り付ける。 ⚡ 事故や漏電のときに感電するおそれがあります。 ● アース工事は必ず販売店に依頼してください。
	● 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない。 ● コンセントを床面にこすりつけて、電源プラグを差し込み使用しない。 ⚡ 感電・漏電・火災の原因となります。

#### 本体のビルトイン

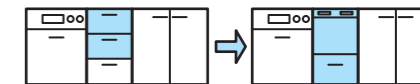
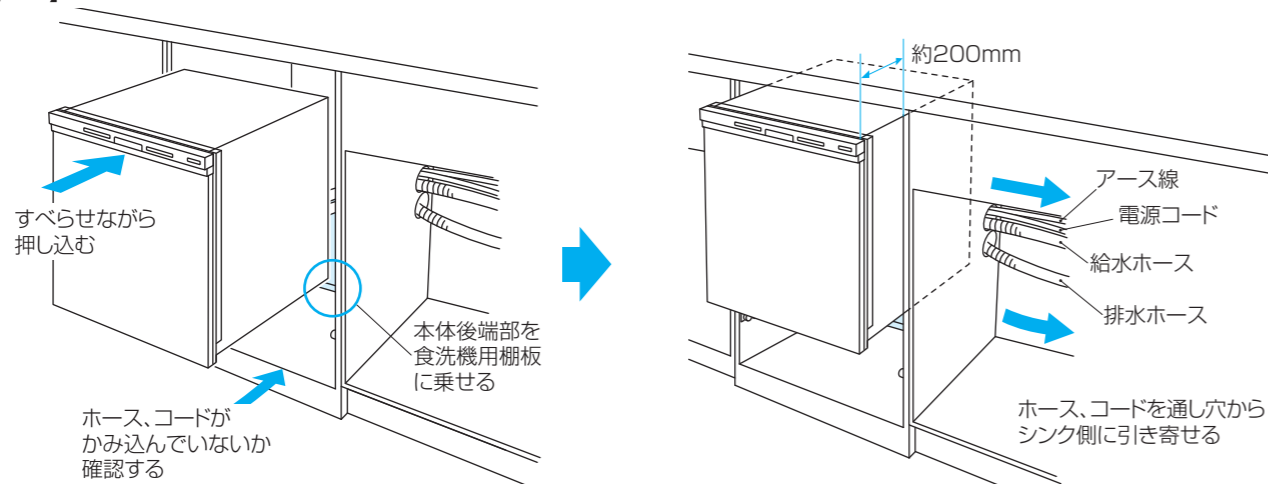
- (1) 電源コンセントを本体奥に設置した場合は、本体取付前に電源コード、アース線を接続します。……………【図 24】【図 28】
- (2) 電源コード、アース線、給・排水ホースを点検口または通し穴からシンク側へ押し込みます。……………【図 24】

【図 24】



- (3) 本体の下面を手で支えて後脚を食洗機用棚板に載せ、食洗機用棚板の上をすべらせながら押し込みます。
- (4) 本体の押し込みを約 200mm 残した位置で一旦止めます。
- (5) 電源コード、アース線、給・排水ホースを点検口または通し穴からシンク側へ引き寄せます。……………【図 25】

【図 25】

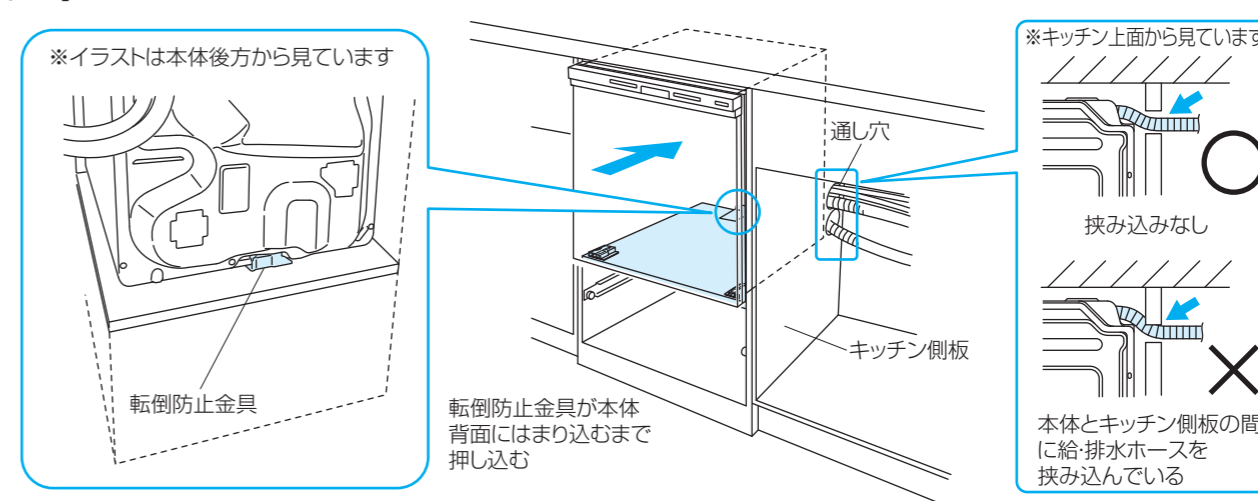


- (6) 本体を転倒防止金具にはまり込むまで押し込みます。……………【図 26】
- (7) ドアを開けて上から少し力を加え、ガタツキがないか確認します。
- (8) ガタツキがなければ転倒防止金具が本体に確実にかかっていますが、ガタツキがある場合は本体を少し抜き出し、再度奥まで押し込んでください。

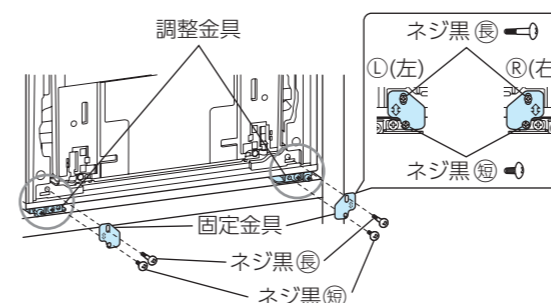
#### 【注意】

本体の収まりが悪い場合は、本体と側壁の間に給・排水ホースが挟み込まれている場合があります。この場合は、通し穴を拡大する等処置を行って下さい。

【図 26】



【図 27】



※ 調整金具の調整方法は本「買替え・後付けマニュアル」の「同梱部品編」をご覧ください。

#### 固定金具の取り付け

……………【図 27】

- (1) 固定金具 (L)(R) の下方ネジ穴と、調整金具前面のネジ穴を合わせてネジ黒Ⓜで取り付けます。
- (2) 次に固定金具 (L)(R) の上方ネジ穴と、製品のネジ穴を合わせて固定金具をネジ黒Ⓡで取り付けます。

※ 上記の順番で取り付けないと、固定金具が下がりキャビネットにキズを付けるおそれがあります。

#### ⚠ 注意

必ず固定金具を取り付ける。

⚡ ドアの開閉などにより製品が前へ動き、食洗機用棚板より落下し、けがをするおそれがあります。

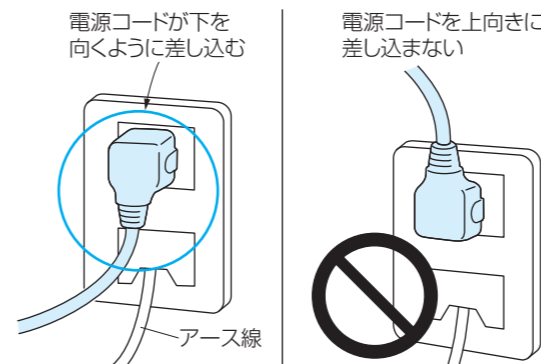
#### 電源コードおよびアース線の接続 ……………【図 28】

- (1) 電圧が 100 V であることを確認してから、埋込みコンセントに電源プラグを差し込みます。
- (2) アース線をアースターミナルに接続します。

#### 【注意】

- ・ コンセントを 200 V 電源に通電すると、コントローラー（電装基板）が瞬時に故障します。
- ・ アース線をガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。（法令等で禁止されています）

【図 28】



### 11 給湯（給水）管および排水管との接続

#### ⚠ 注意

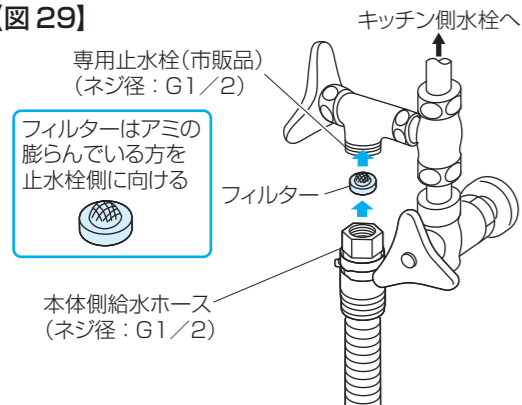
給水ホースおよび排水ホースは切断しない。

❌ 水漏れの原因となります。

給水ホースを床面に落下させない。

❌ 給水ホースは重量物です。落下させるとけがをしたり床面が傷つくおそれがあります。

【図 29】



#### 給湯（給水）管との接続

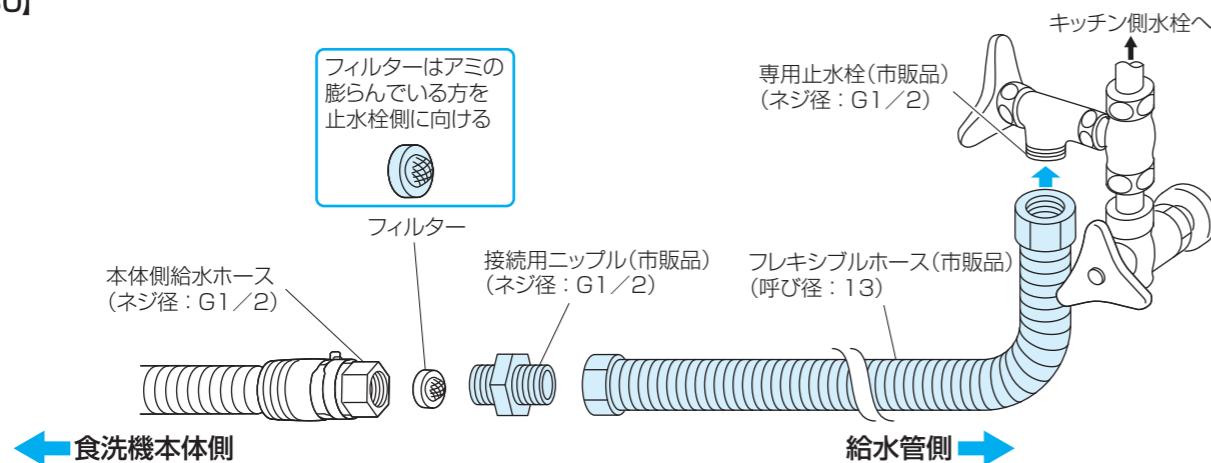
- (1) 給水ホースにフィルターを入れ、専用止水栓へ接続します。……………【図 29】
- (2) 給水ホースのナットは手で軽く締め込んだ後、スパナ等で約半回転締め付けてください。

適正締め付トルク：5 ～ 10N・m{50 ～ 100kgf・cm}

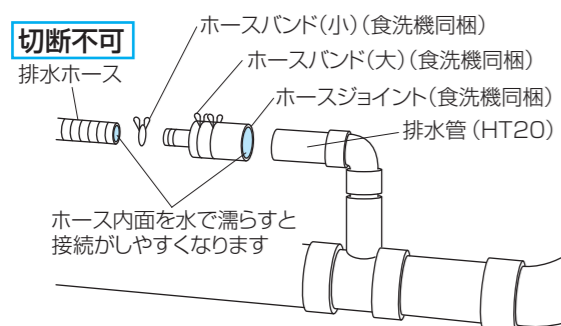
#### 【参考】

キッチンの給湯（給水）接続部まで本体の給水ホースでは長さが足りない場合は、市販品のフレキシブルホースおよびニップルを使用して給水ホースを延長します。……………【図 30】

【図 30】



【図 31】

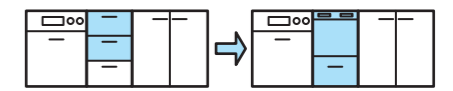


※HT：給排水に使用するビニール製耐熱管

#### 排水管との接続

- (1) ホースジョイントを排水ホース、排水管とそれぞれ接続します。……………【図 31】

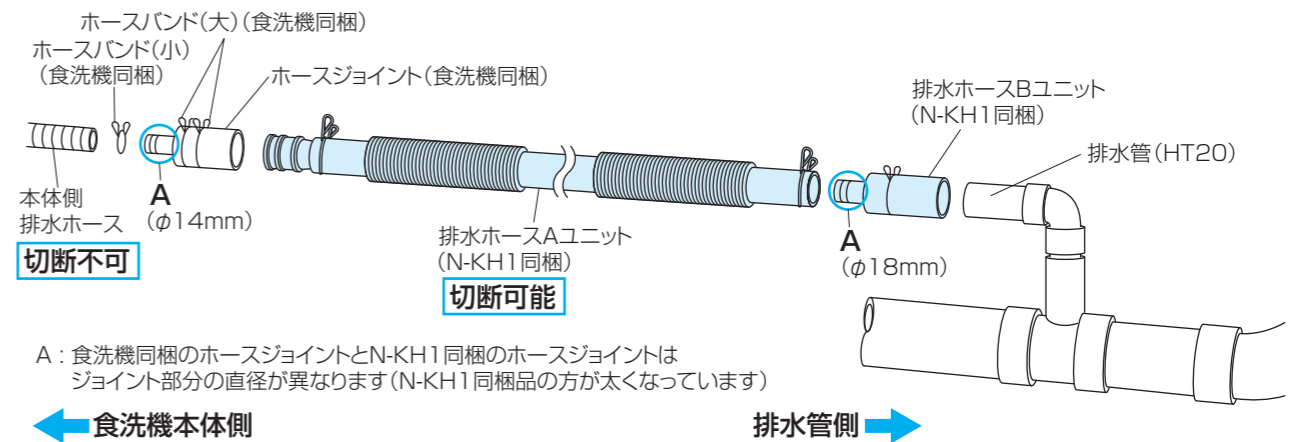
引き出しキャビネットに食洗機用棚板を設置して、ミドルタイプをビルトイン



#### 【参考】

本体の排水ホースではキッチンの排水接続部までの長さが足りない場合は、施工関連部材の簡易排水管（N-KH1）に同梱されている、排水ホース A ユニットおよび排水ホース B ユニットを使用して排水ホースを延長します。【図 32】

【図 32】

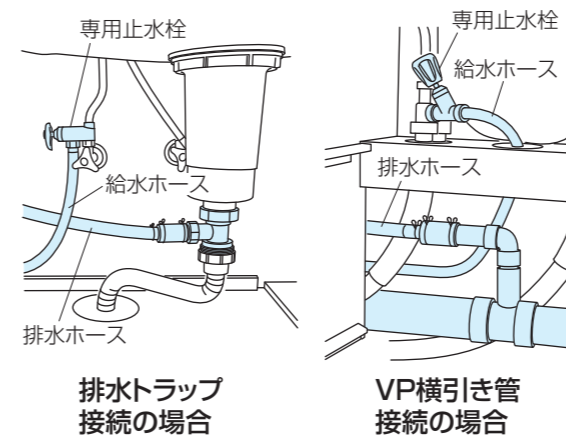


A：食洗機同梱のホースジョイントとN-KH1 同梱のホースジョイントはジョイント部分の直径が異なります（N-KH1 同梱品の方が太くなっています）

← 食洗機本体側

→ 排水管路側

【図 33】



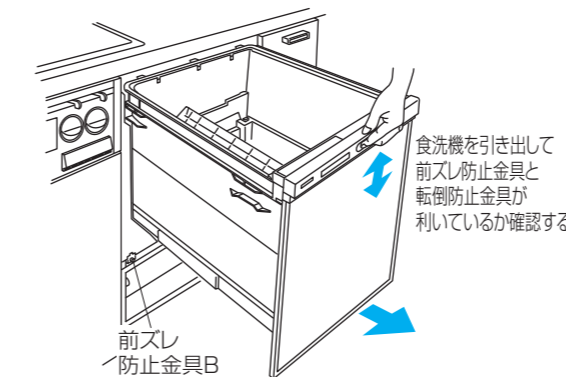
#### 配管状態の確認

……………【図 33】

- (1) 止水栓への接続状態やホースバンドの取り付け状態などを確認してください。
- (2) 給・排水ホースに折れや、ねじれ、たるみがないことを確認してください。

### 12 本体取り付け状態の確認

【図 34】



- (1) 引き出し部を完全に引き出し、荷重をかけ本体が確実に固定されていることを確認します。……………【図 34】

#### 【注意】

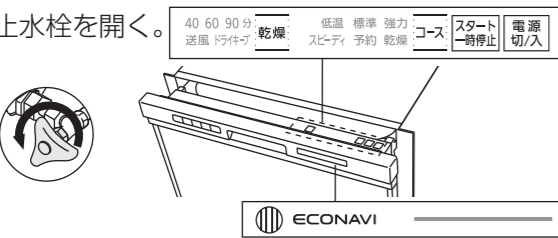
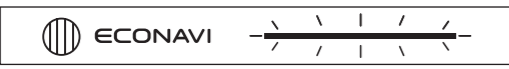
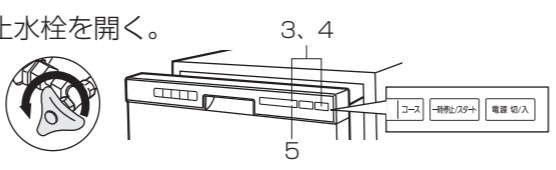


本体のズレや傾きが起る場合は、次の項目を確認します。

- ・ 転倒防止金具や前ズレ防止金具が正しく取り付けられているか
- ・ 電源コード、アース線、給・排水ホースが本体と食洗機用棚板の間などに挟み込まれていないか
- ・ 食洗機用棚板の水平は正しく調整されているか

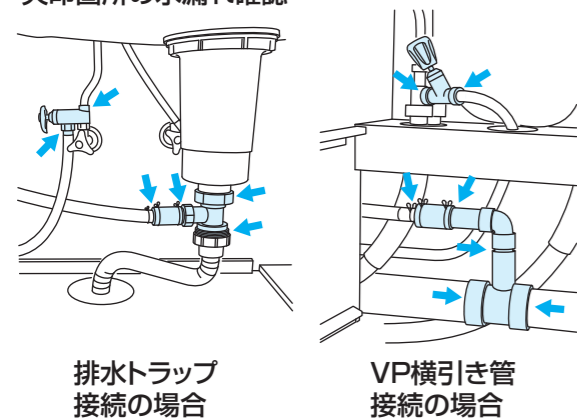
全ての項目を確認して、異常がある場合は確実に修正してください。

13 試運転の実施

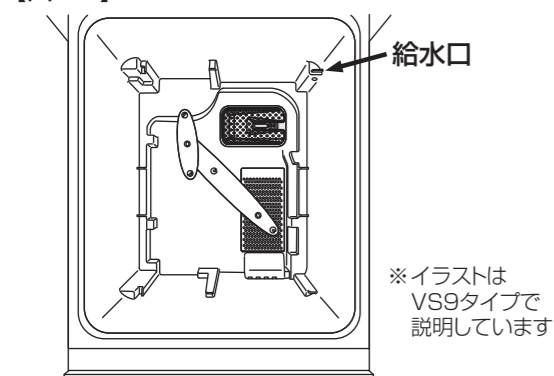
- 本体に電源が入ること、元水栓および止水栓が開栓していることを確認してください。
- 試運転は約 3 分で終了し、終了後電源が切れます。(表示が消灯します)
- 通電、通水が不可状態で試運転が行えない場合は、必ず通電、通水可能後に試運転を行ってください。(ドアを開けて、水や湯を入れて試運転を行わないでください)

MS9 シリーズ	VS9・RS9 シリーズ
<div>1 止水栓を開く。</div> <div></div> <div>2 「スタート／一時停止」ボタンと「コース」ボタンを押しながら「電源」ボタンを押す。</div> <div>3 ボタンから手を離し、3秒以内に「コース」ボタンを押す。</div> <div>4 ドアを閉じると、試運転が開始。 試運転中の表示 (青色点灯)</div> <div></div> <div>※ ドアを閉じないと『ピピピピ』とブザーが繰り返し鳴ります。(閉じると試運転が開始)</div>	<div>1 止水栓を開く。</div> <div></div> <div>2 ドアを閉じる。</div> <div>3 「コース」ボタンを押しながら、「電源」ボタンを押す。</div> <div>4 「電源」ボタンを離して、「コース」ボタンを3秒以上押し続ける。</div> <div>5 『ピピ』とブザーが鳴ったら、「コース」ボタンから手を離し、3秒以内に「コース」ボタンを押すと、試運転が開始。</div> <div>試運転中の表示 VS9  RS9 </div>

【図 35】  
矢印箇所の水漏れ確認



【図 36】

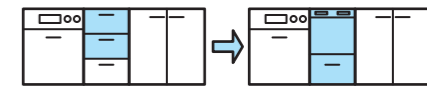


次の項目を確認します

- バシャバシャという噴射音がするか
- 給排水の接続部や止水栓などから水漏れがないか ..... 【図 35】
- 運転終了時、ブザーが鳴って、電源スイッチが「切」になるか
- 庫内の水が排水されているか
- 電源スイッチが「切」の状態で、洗浄タンク内の給水口から水が出ていないか ..... 【図 36】

【注意】

試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。  
長期間居住されない場合は、万が一の水漏れ防止のため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。



試運転で表示部が点滅しブザーが鳴る場合は、以下の内容を確認・処置後、再度運転を行ってください。

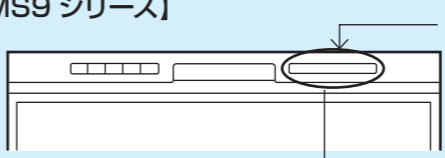
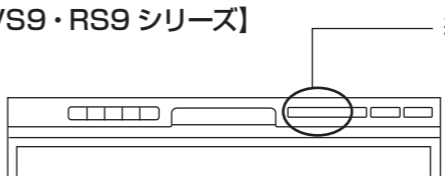
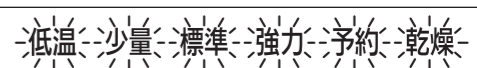
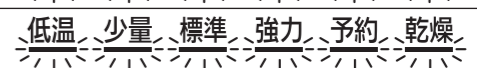
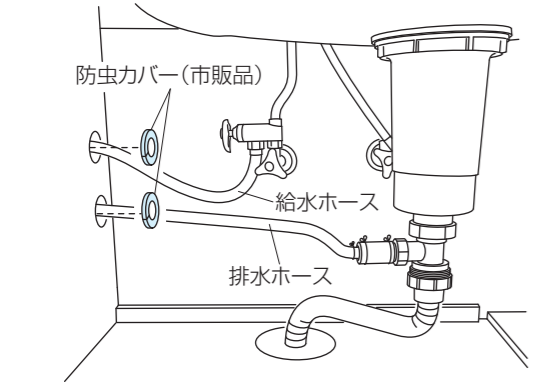
【MS9 シリーズ】	
	上面部： 40 60 90分 乾燥 送風 ドライブ 前面部：赤色のランプが点滅
【VS9・RS9 シリーズ】	
	表示部：全コースのランプが点滅しているときの表示例です。
VS9シリーズ	
RS9シリーズ	

表 示	原 因	処 置
【MS9 シリーズ】 上面部：全コース のランプが点滅 前面部：赤色 のランプが点滅	ドア開異常 【MS9 シリーズ】 運転をスタートした後、 ドアが確実に閉まって いない。	●ドアを確実に閉めると、運転が始まります。  【MS9 シリーズ】 前面部：赤色のランプの点滅から青色のランプの点灯 を確認
【VS9・RS9 シリーズ】 全コース のランプが点滅	【VS9・RS9 シリーズ】 ドアが確実に閉まって いないまま、運転をス タートした。	【VS9・RS9 シリーズ】 全コースの表示の点滅から運転コースのみの点滅を確認
【MS9 シリーズ】 上面部：低温 標準 強力 のランプが点滅 前面部：赤色 のランプが点滅	排水不良 排水ホースの折れやつ まりによって、洗浄槽 内の水が排水できない ため。	●電源を「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。 (折れぐせがついている場合は直す)
【VS9・RS9 シリーズ】 低温 標準 強力 のランプが点滅		
【MS9 シリーズ】 上面部：標準 強力 のランプが点滅 前面部：赤色 のランプが点滅	給水不良 断水や止水栓／水道の 元水栓の開け忘れなど で給水ができないため。	●電源を「切」にする。 ●断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ●キャビネット内の止水栓および元水栓は必ず開栓 する。 ●給水弁先端にあるフィルターの付着物を取り除く。
【VS9・RS9 シリーズ】 標準 強力 のランプが点滅		
【MS9 シリーズ】 上面部：低温 強力 のランプが点滅 前面部：赤色 のランプが点滅	機内の水漏れ不良 本体内部から水漏れて いる。	①止水栓／水道の元水栓を閉める。 ②電源 (ブレーカー) を切る。 ③本体底面の排水口キャップを外して本体内部の水を 抜く。 ④排水口キャップをもとの位置にはめ込む。 ⑤電源 (ブレーカー) を入れる。 ※ 水漏れのおそれがあるため、販売店にご連絡くだ さい。
【VS9・RS9 シリーズ】 低温 強力 のランプが点滅		

14 試運転後の作業

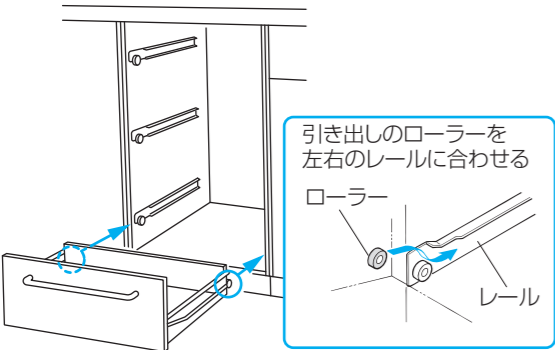
【図 37】



防虫カバーの取り付け

- (1) 給・排水ホースの通し穴に、防虫カバー（市販品のカバーまたはプラスチック板を加工したもの）を取り付けます。  
..... 【図 37】

【図 38】



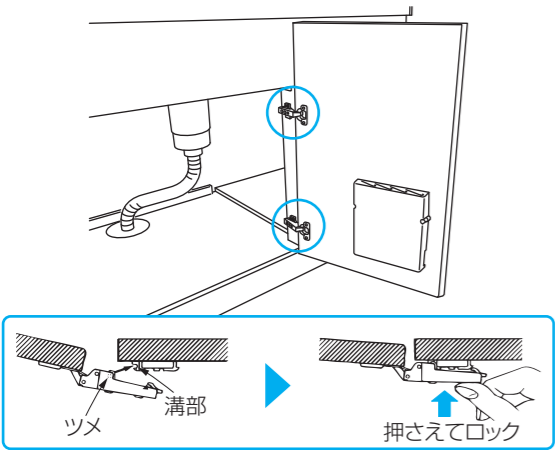
引き出しの取り付け

- (1) 引き出しのローラーをレールのローラーと合わせて引き出しを取り付けます。  
..... 【図 38】

【参考】

上記以外にも、ストッパーをロックして引き出しを取り付けるタイプもあります。

【図 39】



開き扉の取り付け

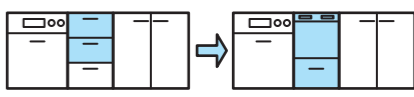
- (1) 扉を保持します。  
(2) 扉上側、扉下側の順にヒンジ本体のツメ部をプレートの溝部に差し込みます。  
(3) ヒンジ本体を「ガチッ」と鳴るまで押さえてロックします。

【参考】

上記以外にも、前後調整ネジにて扉を固定するタイプもあります。

各部復元

- (1) 養生に使用したシート等を取り除きます。  
(2) 撤去した器具等を復元します。



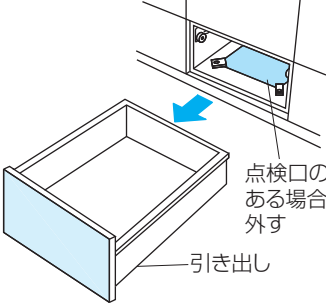
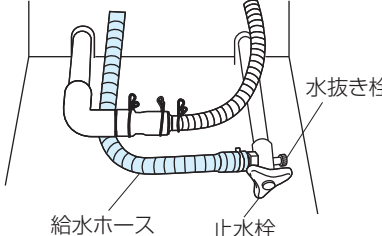
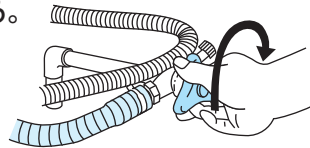
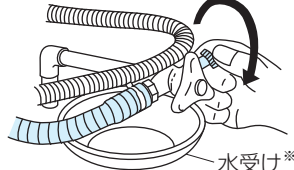
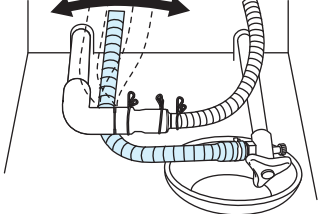
■ 設置後点検の実施

復元作業が完了したら、下表に従って設置後点検を実施してください。

点 検		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	P.03	
	転倒防止金具 調 整 金 具	転倒防止金具および調整金具は取り付けましたか。	P.11 P.16	
給湯（給水）・排水接続	給 湯 器 と 接 続 の 場 合	指定する給湯器に接続されていますか。	—	
	フ ィ ル タ ー	給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	P.17	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	P.13 P.16 ~ 18	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V15A のアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。 アース線を接続しましたか。	P.16	
試 運 転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	P.19	

### ■ 水抜き（寒冷地にて長期間使用しない場合）の実施

寒冷地において冬季長期間ご使用にならない場合には、以下の方法に従って水抜きを実施してください。

<p>①キャビネットの引き出しを抜く。</p>  <p>点検口のフタがある場合は取り外す</p> <p>引き出し</p> <p>●給水ホースが止水栓に接続されています。</p> 	<p>②止水栓を閉じる。</p>  <p>③水抜き栓の下に水受けを置き、水抜き栓を取り外す。(⑤図参照)</p>  <p>※約100mLが受けられるお皿や容器を準備。(高さ25mm以下)</p> <p>④電源を「入」にし、「スタート」ボタンを押す。(給水弁が開放される)</p>	<p>⑤給水ホースを左右に振ったり、軽くたたいたりする。</p>  <p>●残水が排出された後も水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、内部の水を吸い取る。(水滴が落ちなくなるまで)</p> <p>⑥電源を「切」にし、排出水进行处理する。</p> <p>⑦必ず水抜き栓を取り付ける。</p> <p>●止水栓は再使用するまで閉じたままにしてください。</p> <p>⑧キャビネットの引き出しおよび点検口のフタを取り付ける。</p>
--	--	---